

変わらぬ日々が幸せ

1995年度 OA秘書本科卒 小林 美佳 (旧姓: 松岡)

現在は長女5歳、長男2歳そして第三子を妊娠中の専業主婦です。仕事を離れ6年、役立つ話には程遠い生活です。

在学中に取得した検定や資格は何も活かされず、いって言えばタイピングスピードが衰えないぐらいでしょうか。あと、お礼状や目上の方への手紙を書く際には『企業秘書ハンドブック』を引っ張り出していきます。

当時はワープロを使っていたし、少々習ったPCもロータス、一太郎、時代を感じますね。学校名からも簿記が無くなったように学校も時代の流れに変化しているようですね。

卒業当時は、就職難の「超氷河期」なんて言われたこともあり、秘書科を出て秘書になった人はいるのかな？私は妊娠を機に退社するまでは役員秘書をしていたこともあります。しかし、ドラマのような華やかな職場ではなかったですけど。



現在は仕事をしていないので、PCに向かうと言えば、mixiぐらい。mixiの岩谷学園のコミュでは懐かしい顔ぶれともネット再会をしています。mixi人口が多いので卒業生の方も多いため、ぜひ、一度覗いてみてください。

自分の日記に幼稚園のお弁当(キャラ弁)を載せたり、子供との格闘、旦那の愚痴、を載せたりするぐらいの平凡な日々を過ごしています。

まあ、平凡な日々、それが一番幸せなことですけどね。

変わらぬ仲間

1984年度 税理士本科卒業 高森 勝彦

私は、横浜簿記を卒業して23年になります。卒業後は横浜トヨペットに入社し、長年勤務していましたが、親の会社を継ぐために退社し、現在はこれまでとは全く違った仕事内容に戸惑いながらも、雑用から営業まで、何でもこなしている毎日です。

横浜簿記の思い出は何と言ってもヨットです。入学してヨット部があることを知り直ぐに入部しました。もともとマリンスポーツには興味があり、勉強より優先して活動していたように思います。在学中は、勿論のこと、卒業後も在校生の活動日や伊豆への合宿なども参加していましたが、仕事や家庭が出来それぞれが参加できず、ヨット部も解散したと伺いました。それでも、ヨット部の仲間たちとの付き合いは続いていました。

5年ほど前のある飲み会の席で、「ヨット部復活」の声が、・・・40歳前後になって、体力的に厳しそうな仲間たちから発せられた言葉が2年後、現実になりました。

ヨットに乗る気持ちは、学生のままですが、肩で息をする者、筋肉痛になる者様々ですが、家族を交え学生時代には出来なかった活動で交流を深めています。私も家族そろって、できるだけ参加しています。

現在、三浦海岸でヨット・マリッジット・バナナボート・ウェイクボードなどにチャレンジしています。皆さんもよろしければ参加しませんか。お待ちしております。

このような活動の機会を与えて頂いた岩谷学園ヨット部に感謝しております。ありがとうございました。



中国・寧波で、3つの事業を運営しています

2003年度 日本語科卒 史 吉平

卒業以来、あっという間に三年経ちました。先生方は皆お元氣でしょうか。私は現在中国の寧波市にいます。いつも母校の生活を思い出しています。

ときどき梅原先生と寧波でお会いし、母校の最新情報をうかがいますが、お世話になった伊藤先生はじめ諸先生方に感謝の気持ちをこめて、私の近況を報告させていただきます。

私は2006年3月に神奈川大学経済学研究科の修士課程を修了。日本の企業に内定していましたが、思い直して帰国しました。自分の将来計画に沿って、事業を起こすため、現在、三つの事業を始めています。

ひとつは元々自分が1999年に創立した国際物流会社の継続経営で、日本で学んだ経営理念を自社に導入し、半年をかけて社内構造の調整を徹底しています。でもこれを利益につなげるのはなかなか大変です。

もうひとつは、去年6月に興した人材派遣会社で、主に貿易、物流などの人材を仲介・派遣しています。

また、今年の年初から、地元の区教育局と連携し、外国語・貿易・物流に関する職業教育学校を設立しました。現在では職業専門教育をはじめ、学生の実習、就職までを一貫して行っております。



以上三つの事業は原則的に独立な事業ですが、将来はこれらの事業をワンネットワークにするつもりです。これからも先生方や同門からのご指導をお願いしたいと思います。

連絡先： 中国寧波市大沙泥街2号

0086-574-87306299 13306691380

sjp@ebn2006.com

学生時代の失敗もよい思い出です

1998年度 経理本科3年制卒 佐々木宗歴

平成11年3月に経理科3年コースを卒業して8年が経ちました。今は某食品会社の経理課で働いています。仕事内容として支払業務だけではなく、今は資金繰りもやるようになり月末は日々胃痛との闘いです。そしてなぜか経理ですけど関東近郊への出張もしばしば…(苦笑)

学生時代には検定に向けた勉強だけではなく、クラス一丸となってパーベキュー等季節ごとにさまざまなイベントを行いました。そして友達と青春18切符で行った京都への卒業旅行。時には失敗もしましたが、今となってはいい笑い話です。

みなさんもさまざまな思い出があると思います。そこで、もし時間があればなつかしの母校を見に行かれてはどうですか？

このごろ年に1・2回学校を訪ねる機会があるのですが、時代の流れなのか、昔の横浜簿記専門学校からはずいぶん変わったなあと思います。ちょっと浦島太郎的な気分を味わうところもあるのですが、社会の変化につれて学校も変わっていくということなのだと思います。

お世話になった先生に会いがてらに、今の学校もぜひ訪ねてみて下さい。

